

1 のろさんいおんじょう 野呂山伊音城
 こうぼうじいわや ほんどう 弘法寺岩屋(本堂)



市有形文化財

弘法大師信仰と結びつき創建されたものと想定される。野路山の岩体である流紋岩質凝灰岩の巨岩の上に本堂が建てられ、その奥に大師を安置した厨子があります。

☺ 安浦町中切
 ♀ JR安芸川尻駅より車で20分

2 こうぼうじ ほんしゅう 弘法寺 梵鐘



市有形文化財

宝暦4(1754)年に願主 中切村庄屋 矢田部甚助、本願主 高野山實相院奥之坊龍泉院が奉納したとあり、銘文も入っている。

☺ ♀ ①と同様

3 のろさんいおんじょう 野呂山伊音城
 こうぼうじいわや はちじゅうはっかしよ 弘法寺岩屋八十八ヶ所



市有形文化財

四国八十八ヶ所巡礼に代わる地方霊場であり、弘法寺への参道に沿い、中切三本松公園札所を起点とし、一番～十番を置き、最終を弘法寺札所の八十一番～八十八番として、八ヶ所を設けている。

☺ ♀ ①と同様

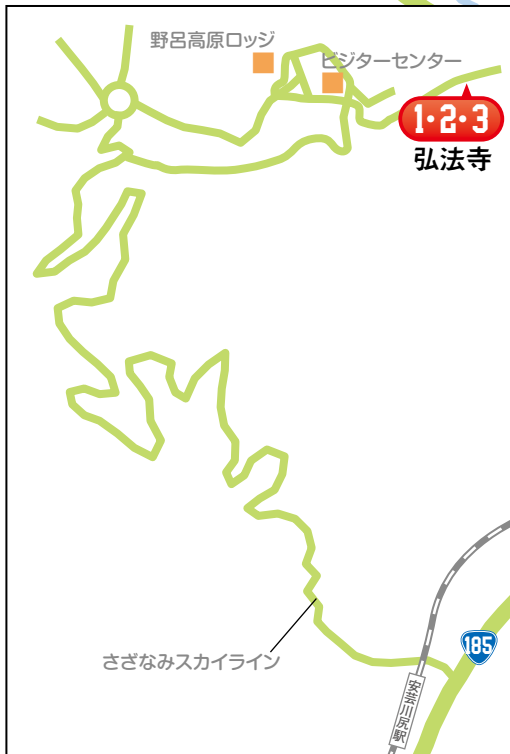
4 いちばらかんのんどう ぼだいじゆ 市原観音堂 菩提樹



市天然記念物

鳥居脇にあるボダイジュは、樹齢は約450年といわれ、根周り1.7m、幹の目通り周囲1m、高さ9m、樹勢は旺盛であり、6月頃に淡黄色の美しい花を咲かせる。

☺ 安浦町中畑
 ♀ 「市原上」バス停下車 約5分



5 しだびらじんじや やまもも 朶平神社の山桃



市天然記念物

胸高幹囲2.0m、樹高15.0m
 このヤマモモは寛永年間(1624~1643)に村が独立したときの記念樹として伝えられており、樹齢は350年以上といわれ、安浦町内で最大の大きさを誇っている。

☺ 安浦町赤向坂 ♀ 「白稻」バス停下車 約5分

7 さいふくじ ごりんとう 西福寺五輪塔



市有形文化財

西福寺の大旦那と言われる常広城主、内海氏ゆかりの墓塔と考えられる。完形の五輪塔で四面各部に梵字が刻まれている。南北朝時代の建立と考えられる。

☺ 安浦町内海北5丁目
 ♀ 「亀山神社前」バス停下車 約7分

8 かめやまはちまんじんじやほんでん 亀山八幡神社本殿



市有形文化財

亀山八幡神社本殿は応安2(1369)年に常広城主の内海民部貞明が勧請し、社殿を造営したといわれる。江戸初期の特徴をよく残しており、瀬戸内沿岸及び島嶼部を代表する貴重な建造物。

☺ 安浦町内海北5丁目
 ♀ 「亀山神社前」バス停下車 約2分



6 もくぞうかんのん ぼさつりゅうぞうおよ たいないのうにゅうひん 木造観音菩薩立像及び胎内納入品

木造十一面観音立像 1軀
 木造不動明王立像 1軀
 小骨片 1片 印仏 1,840枚



県重要文化財

観音像の衣文の表現の刀法は概して浅く、背部の衣文を彫線で表す手法が見られる。印仏紙に鎌倉時代末期の年号が見えることから観音立像も同時代の製作と考えられる。

☺ 安浦町内海北5丁目
 ♀ 「亀山神社前」バス停下車 約10分



中央高原(鞆原)

昭和・志願・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下浦川・浦川

豊浜・豊

音戸・倉橋



中央宮原繁固屋

昭和・志願吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下浦刈・浦刈

豊浜・豊

音戸・倉橋

KURE

12 黒地の浜 地層(紅柱石)

くろち はま ちそう こうちゅうせき



安芸津を含む黒地一帯は、白亜紀後期後半(約6500万年前)の広島花崗岩類の貫入による接触変成作用を受けて白色針状の紅柱石が生じている。

安浦町三津口6丁目
 黒地バス停下車 約10分

市有形文化財
 天然記念物

11 まつ いしゅんたく じゅうかん
 松井俊卓 住館



松井家は代々医業をもって地域に貢献しており、この住宅は、庭園を含め、家門、式台、薬劑調合処など江戸時代後期の医家住館の構えがよく残っている。

安浦町三津口1丁目
 三津口棧橋バス停下車 約5分

市有形文化財

10 ずいろうじ ほけねほんず
 瑞雲寺の仏涅槃図



沙羅双樹の間に入滅の様子が描かれている。元禄3(1689)年に信者有志によって奉納された、縦288cm×横197cmの大作で、紙本着色。

安浦町三津口1丁目
 三津口棧橋バス停下車 約5分

市有形文化財

9 ずいろうじ たいまんだら
 瑞雲寺の当麻曼荼羅



極楽浄土の光景を描いた国宝の当麻曼荼羅(たいまんだら)を模写している。絹本着色で、本紙、縦285cm×横239cmの大作。

安浦町三津口1丁目
 三津口棧橋バス停下車 約5分

市有形文化財





KURE

中央宮原豪固屋

昭和・大正・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下蒲刈・蒲刈

豊浜・豊

音戸・倉橋



1 かんらんかく 観瀾閣



満州土木建築業協合理事長を勤めた榎谷仙次郎が建てた別荘。下蒲刈の沿岸に沿った立地と中国の磚造建築の意匠を取り入れた特異な外観が特徴。

☞ 下蒲刈町三之瀬
☞ 「三之瀬」バス停下車 約10分

2 まるもとけしゅうたく 丸本家住宅



様式手法から見て18世紀前半頃の建物と考えられる。通常の民家には見られない柱間装置を有し、意匠的にも優れた構成になっている。

☞ 下蒲刈町三之瀬
☞ 「三之瀬」バス停下車 約6分

3 さんのせごほんじんあと 三ノ瀬御本陣跡



江戸時代の海上航路の要衝に設置された浜本陣跡。三ノ瀬本陣は港に臨み、浜本陣の形態が整えられていた。

☞ 下蒲刈町三之瀬
☞ 「三之瀬」バス停下車 約6分

4 さんのせちようせんしんししゅくかんあと 三ノ瀬朝鮮信使宿館跡



朝鮮通信使来訪時に使用された宿館跡。通信使の宿館は上の御茶屋だったが、下の御茶屋と本陣もあわせて使われた。

☞ 下蒲刈町三之瀬
☞ 「三之瀬」バス停下車 約6分

5 りゅうしゅんきょ 留春居



江戸時代の末、沼隈の豪農山路機谷が、邸内に移築。祖父重好が京都黒谷で営んだ奇好亭を楼造り(二階建て)に改め、漢学研鑽の場にしたもの。

☞ 下蒲刈町三之瀬
☞ 「三之瀬」バス停下車 約6分



KURE

中央宮原繁園屋

昭和・志願・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下蒲刈・蒲刈

豊浜・豊

音戸・倉橋

8 ちょうせんじんらいちようおほえび ぜんご ち そうせんぎようれつ ず
朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図



延享5(1748)年に來日した第10次朝鮮通信使が日比港から牛窓(現岡山県瀬戸内市)に向かって進む船団の様子を描いた絵巻物。



☁ 下蒲刈町下島(旧有川邸)
📍 「三之瀬」バス停下車 約2分

9 きゅう きがみけ じゅうたく
旧木上家住宅



宮島の門前町にあった町屋を移築したもので、江戸時代後期の宮島の町屋の特徴をよく残しており、宮島町の町屋でも最も古いものと推定される。



☁ 下蒲刈町下島
📍 「三之瀬」バス停下車 約2分

10 しょうらいてい
松籟亭



関西を中心に数多くの数寄屋建築を手がけた平田雅哉の初期の作品。栗のナグリ仕上げの広縁や吟味された材料を用いた三畳台目の茶席が特徴的。



☁ 下蒲刈町下島
📍 「梶ヶ浜海水浴場」バス停下車 約5分



6 かまがりしま ごぼんしよあと
蒲刈島御番所跡



江戸時代の海上航路の要所に設置された番所跡。蒲刈の番所には繫船奉行のもとに、船頭・水主が常備され番船や水船などがいつもつながれて海上の警固にあたった。

☁ 下蒲刈町三之瀬
📍 「三之瀬」バス停下車 約3分

7 よし だてい
吉田邸



山口県上関町の旧家「吉田邸」を移築したもの。瀬戸内独特の平入り入母屋型本瓦葺屋根の古い土蔵造り建築で、土戸・ぶちょう等古い建具が現存する珍しいもの。

☁ 下蒲刈町下島
📍 「三之瀬」バス停下車 約2分

松籟亭 10

春蘭荘

「梶ヶ浜海水浴場」

梶ヶ浜海水浴場

貝と海藻の家

朝鮮通信使記念庭園

11 はいじょうけつ 盃状穴



春日神社



善正寺

石等の道具を使って彫った盃状の穴。女性を表現し、最初は再生を願って墓に彫り、後には子宝、安産、豊作を願うものになったと考えられる。



☺ 蒲刈町向
♀ 「向棧橋」バス下車 約8分



KURE

中央 宮原 鞆 固屋
昭和・志願 吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋

11 善正寺

11 春日神社

本宮神社

灰仏・石仏 12・13

12 はいぶつ 観音菩薩立像



古い仏像や経典を焼いた灰を混ぜた粘土製の仏像。完形品は県内でも数少なく希少。

☺ 蒲刈町向
♀ 「向棧橋」「向小市の浜」バス下車 約20分

13 せきぶつ 石仏



舟形石灰岩自然石の片面を磨き、観音菩薩坐像を線刻したもので、桃山時代のもの。

☺ ♀ ♂ と同様

へんろしやうぞく 遍路装束



2着あり、文化6(1809)年と天保4(1883)年の年号と「奉納西国三十三所、二世安楽」と書かれ札所の朱印が押してある。



KURE

中央 宮原 豊原 豊原
 昭和・志願・吉浦
 郷原
 阿賀
 広・仁方
 川尻
 安浦
 下蒲刈・蒲刈
 豊浜・豊
 音戸・倉橋



14 もくぞうしゃかによらいざぞう
木造釈迦如来坐像



有形文化財
 檜材の寄木造りで、蒲刈町に存在する木造釈迦如来坐像では最大級のもの。
 ㊦ 蒲刈町宮盛
 ㊧ 「宮盛」バス下車 約15分

15 どうげこふん
峠古墳



市史跡
 直径8m、高さ1mの5世紀前半の円墳。2基の箱式石棺を持つ。
 ㊦ 蒲刈町宮盛
 ㊧ 「小浜」バス下車 約8分

15 峠古墳

16 やくしによらいざぞう
薬師如来坐像



有形文化財
 カヤ材の一木造りで、平安時代のも。蒲刈町における木彫仏開始期の様相を物語る遺例。
 ㊦ 蒲刈町大浦
 ㊧ 「宮農センター」バス下車 約15分

18 かんのおんぼさつりつぞう
観音菩薩立像



有形文化財
 カヤ材の一木造りで平安時代(12世紀前半)のもの。螺髻の形式や典雅な面相が、中尊寺瑠璃光院の大日如来像によく近似している。
 ㊦ ㊧ ㊨ と同様

17 じこくてんぞうちやうてんりつぞう
持国天・増長天立像



有形文化財
 二天共に檜材、平安時代のも。蒲刈町における藤原彫刻の展開を実証する重要な造像例。
 ㊦ ㊧ ㊨ と同様

19 ふどうみょうおうりつぞう
不動明王立像



有形文化財
 檜材の一木造りで、平安時代のも。蒲刈町における藤原彫刻の展開を実証する重要な造像例。
 ㊦ ㊧ ㊨ と同様

16・17・18・19



20 せきじん 石刃



大巻平遺跡(大浦地区)から出土した後期旧石器時代の安山岩製の石刃。



浦刈町大浦 (かまがり古代製塩遺跡復元展示館)
「恋ヶ浜」バス停下車 約15分

22 せきふ 石斧



丸尾遺跡(大浦地区)から出土した弥生時代中期の安山岩製の石斧。



県立 同様に同様

24 いしざら 石皿



丸尾遺跡(大浦地区)から出土した縄文時代後期の黒雲母白雲母片岩製の石皿。



県立 同様に同様

21 いし さじ 石さじ



しんこうじ遺跡(大浦地区)から出土した縄文時代の安山岩製の石さじ。



県立 同様に同様

23 いし すり石 すり石



丸尾遺跡(大浦地区)から出土した縄文時代後期の安山岩製のすり石。



県立 同様に同様

25 いれ ぼ 入れ歯



ツゲの木製で江戸時代の上顎総義歯。お歯黒がついていることから女性のもつとみられる。和紙片が付着していることから和紙を貼り付けて挿入定着させたものと考えられる。



県立 同様に同様

26 こつぞう き 骨蔵器



初神(田戸地区)から出土した、高さ16.7cm、肩巾19.8cm、口径9.3cmの骨蔵器で奈良時代後半～平安時代前半のもの。

県立 同様に同様



KURE

中央 宮原 豊岡 豊後

昭和 太田 吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

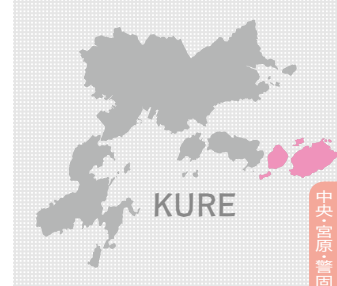
川尻

安浦

下蒲刈・蒲刈

豊浜・豊

音戸・倉橋



KURE

中央宮原書固屋
昭和・志願・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋

豊浜中学校

1 豊浜のホルトノキ群叢

1 とよはま ぐんそう 豊浜のホルトノキ群叢



ホルトノキを主とした群叢だが、ホルトノキ以外にも瀬戸内海島嶼部特有の樹種に富み、この地方本来の林相を保っている。



豊浜町豊島
豊浜支所 バス停下車 約5分

2 とらいぐんゆうかいめん アビ渡来群游海面



この海面では、アビに追われて海中深く潜入するイカナゴを好餌として群集するタイを釣る、イカリ漁が盛んに行なわれていた。



豊浜町

アビ渡来群游海面

2

3 大岐神社

3 おおき じんじゃ 大岐神社のムク



根回幹囲11.8m、目通幹周6.5mの県下有数の巨樹。発達した4条の板状根は熱帯樹の景観を呈する。



豊浜町大浜
立花港 バス停下車 約5分

4 大浜の社倉

4 おおはま しゃそう 大浜の社倉



安永8(1779)年に広島藩が飢饉に備えて設置させた穀物の倉庫。間口三間奥行二間で面積19.8平方メートル(6坪)の本瓦葺の土蔵造。



豊浜町大浜
大浜棧橋 バス停下車 約5分

354

355

355

胡神社

豊浜市民センター

良鎮寺

室原神社

豊浜駐在所

豊浜支所

立花港

東消防署大崎下島出張所

日本一のジャングルジム架橋記念公園

豊浜大橋

大浜棧橋

大浜郵便局

呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区



江戸時代に潮待ち・風待ちの港町として栄えた町並みが残る。江戸時代から昭和初期に至るまで、瀬戸内海交通の中継港としての痕跡を今も集落内に留めている。

豊町御手洗

5 旧柴屋住宅



大長村庄屋役及び御手洗町年寄役を代々勤めた高橋家(屋号柴屋)の別宅の一部。文化3(1806)年に伊能忠敬が大崎島の測量をした時の宿舎として利用された。

豊町御手洗
「御手洗港」バス下車 約3分

6 旧金子家住宅



江戸時代に御手洗の庄屋役であった金子家が、様々な要人を接待するために建設した茶室を含む数寄屋座敷と長屋門からなる江戸時代後期の複合建築。

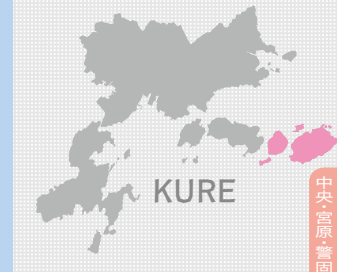
豊町御手洗
「御手洗港」バス下車 約3分

7 若胡子屋跡



江戸時代、広島藩から公認された四軒のお茶屋のうち唯一現存する建物。別棟の奥座敷には天井・雨戸には屋久杉が使われるなど贅沢な造り。

豊町御手洗
「御手洗港」バス下車 約3分



KURE

中央宮原・吉原
昭和・大正・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋

8 えびすじんじゃほんでん はいでん
恵美須神社本殿・拝殿
 附 覆屋 1棟・棟札 2枚



県重要文化財

御手洗が成立した頃にあわせて祀られた古い社。現在の本瓦葺きの本格的な本殿は元文4(1739)年に、拝殿は明和元(1764)年に再建された。

豊町御手洗
 ♀「御手洗港」バス停下車 約3分

9 みたらいしちゅうおらいせき
御手洗七卿落遺跡



県史跡

町年寄や町割庄屋を務めた多田家(屋号:竹原屋)の屋敷跡。「蛤御門の変」の敗北を聞き、倒幕派公卿5名が長州へ落ち延びる途中に宿泊したとされる。

豊町御手洗
 ♀「御手洗港」バス停下車 約3分

10 まんしゅうじ いしがき
満舟寺石垣



市有形文化財

満舟寺の石垣は、1733~1751年の間に築造されたと考えられています。満舟寺のような巨大な石垣は安芸灘島嶼部においても希有。

豊町御手洗
 ♀「御手洗港」バス停下車 約3分

11 ふなやど ぶらむらい ぶらきむら きたがわけじょうたく
船宿(旧村井・旧木村・北川家住宅)



市有形文化財

船宿とは、藩の御用船が入港した際の世話を一切を賄うとともに、借財の用立てといった御用商人の役割も果たしていた。この三軒長屋の中央にある「若本屋」は、慶応3(1867)年に大洲藩の船宿に指定されたほか、宇和島藩の船宿も兼ねていた。

豊町御手洗
 ♀「住吉神社前」バス停下車 すぐ

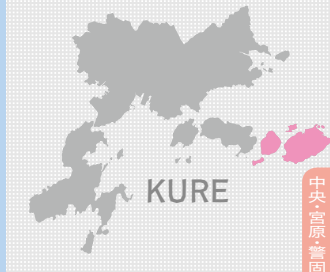
12 すみよしじんじゃほんでん みずがきおよ もん
住吉神社本殿・瑞垣及び門
 附 覆屋 1棟・幣殿 1棟・棟札 3枚



県重要文化財

千砂子波止の築調にあたり、波止の鎮守として文政13(1830)年に大阪の鴻池善右衛門が寄進した。本殿は堺の住吉大社の二分の一に写し、大阪で造らせてここで組立てたとされている。

豊町御手洗
 ♀「住吉神社前」バス停下車 すぐ



KURE

中央宮原・宮原

昭和・天応・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下蒲刈・蒲刈

豊浜・豊

音戸・倉橋

13 うつじんじゃ 宇津神社のホルトノキ



幹周約5m、高さ約10mの県下最大級のホルトノキの巨木。樹齢約1200年以上と推定される。樹勢は旺盛で御神木としての力強さと威容を見せる。

豊町大長
「団地センター」バス停下車 約5分



14 うつじんじゃむなふだ 宇津神社棟札



古くは鎌倉時代から今日に至るまでの棟札が51枚残っている。資料的に恵まれない瀬戸内島嶼部の姿を伝える貴重な史料。

豊町大長
「団地センター」バス停下車 約5分



15 ひだけじゅうたくおもや 飛弾家住宅主屋



主屋は木造2階建てで軒廻りを漆喰塗込とした丁寧なつくりで、町屋の様式を取り入れた江戸時代後期の農家建築物として貴重です。

豊町大長
「団地センター」バス停下車 約6分



16 ひだけじゅうたくはな 飛弾家住宅離れ



要所に数寄屋風細部を記し、豪華な意匠が凝らされた2階建建物で、大正13(1924)年の建築。

豊町大長
「団地センター」バス停下車 約6分



17 ひだけじゅうたくくらもん 飛弾家住宅蔵門



大正時代末期の長屋門風蔵門で、みかん保存用の倉庫建築です。蔵と門を兼ねるとい珍しいもの。

豊町大長
「団地センター」バス停下車 約6分



18 ひだけじゅうたくくら 飛弾家住宅蔵



大正時代末期の蔵で、みかん保存用の倉庫建築です。土蔵とは異なるみかん栽培繁栄期の保存形式を知る上で貴重。

豊町大長
「団地センター」バス停下車 約6分



19 ひだけじゅうたくかんのんどう 飛弾家住宅観音堂



明治時代初めから大正時代末に移築された観音堂は、信仰形態が伺える事例として貴重。

豊町大長
「団地センター」バス停下車 約6分



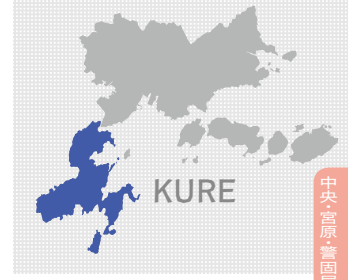
20 もくぞうのうせん おおちようまる 木造農船 大長丸



みかん運搬のための独自の構造を持った船。全国的に見て、沿岸・島嶼部において船を使った出作の事例は希有であり、民俗慣行として、極めて貴重。

豊町大長(豊市民センター)
「団地センター」バス停下車 約3分





KURE

中央 宮原 警固屋
昭和 志麻 吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下浦刈・蒲刈

豊浜・豊

音戸・倉橋



1 音戸清盛祭

1 おんど きよもりまつり
音戸清盛祭



音戸の瀬戸を切り開いた平清盛公を偲んで、踊られた「念仏踊り」が元となり、天保の頃から格式ある「大名行列」となった。

📍 音戸町坪井～南隠渡
📍 「清盛塚」バス停下車 すぐ



2 でんきよもりづか
伝清盛塚



音戸の瀬戸を切り開いたといわれる平清盛公の公徳を称え、その供養のため元暦(1184)年に建立された。

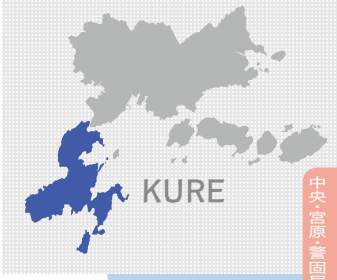
📍 音戸町鯉浜
📍 「清盛塚」バス停下車 すぐ



📍 おんど ふなうた
音戸の舟唄



瀬戸内海に面した呉市と倉橋島の間にある音戸の瀬戸を行き交う船頭たちによって唄われてきたもので、日本三大舟唄の一つといわれている。



KURE

中央 宮原 善原屋
 昭和 天原 吉浦
 郷原
 阿賀
 広 仁方
 川尻
 安浦
 下浦刈 蒲刈
 豊浜 豊
 音戸 倉橋



3 まるこやまじょうあと
丸子山城跡



南北朝期、倉橋多賀谷氏によって築かれた水軍城跡。内郭を形成する本丸、二の丸、三の丸がその腰郭とともに極めて良好に保存されている。

倉橋町
 本浦]バス停下車 約10分

5 くらはしばん こうきょうがいでん ほんぎ
倉橋板「孝経外伝」版木
 附 収納箱



寛政年間に倉橋の有志により設立された郷学「敬長館」で使用された。江戸後期の庶民教育を知る上で重要な資料。

倉橋町(倉橋歴史民俗資料館)
 桂浜・温泉館]バス停下車 すく

4 白華寺

4 もくぞうじゅういちめんくわんのんりゅうぞう
木造十一面観音立像



県重要文化財
 壇色彩、彫眼を施した寄木造りで、細かく丁寧な作風から中央の仏師の手によるものとみられる。鎌倉期の作。

倉橋町
 本浦]バス停下車 約15分

6 しほんぼくしよだいはんにやきょう
紙本墨書大般若経
 附 経櫃二櫃「享徳二年癸酉林鐘上旬日」の銘



この大般若経は、元は応安7(1374)年から永和元(1375)年にかけて、周防の大内氏の氏寺、氷上山興隆寺の僧、無参によって書写された。中世芸南地域の動向を知る上で貴重な歴史資料。

倉橋町
 本浦]バス停下車 約15分

7 いつくしまじんじゃかんげんさいごぎぶね
厳島神社管絃祭御座船



市有形民俗文化財

御座船の特徴を示し、実際に祭礼に使用されていたものであることから厳島信仰の一端を表す資料。倉橋島の伝統的な産業であった木造船建造技術を後世に伝えるものとして貴重である。

倉橋町
 桂浜・温泉館]バス停下車 約2分

9 かつらがはまじんじゃほんてん
桂濱神社本殿
 附 宮殿 3基・棟札 1枚
 (文明十二年六月二日)



本殿は、文明12(1480)年の棟札を有する。屋根は柿葺きで、三間社流れ造りの本殿は、全体的に木細で、庇の柱まで円柱にするなど県内で類例の少ない建築物。

国重要文化財

倉橋町
 桂浜・温泉館]バス停下車 約2分

8 まんようしゅういせきながとしままつばら
万葉集遺跡長門島松原
 (桂濱神社境内)



天平8(736)年に派遣された遣新羅使は旅の途中、長門島に立ち寄り歌を遺している。桂浜は、長門島の磯辺に比定され、今でも歌意にかなう風情をたもっている。

倉橋町
 桂浜・温泉館]バス停下車 約2分

10 岩屋古墳

10 いわやこふん
岩屋古墳



古墳時代後期の円墳。巨大な花崗岩を使用した横穴式石室が現存し、島嶼部での歴史文化を知る上で貴重。

倉橋町
 鹿老渡]バス停下車 約25分

おわりに

「呉の文化財」いかがだったでしょうか。

身近にありながらも、これまで見過ごしてきた文化財がありませんでしたか。

文化財が身近にあるということは、実はそれだけ壊される危険にさらされているということ。そして、長い年月にわたって大切に守られ、受け継がれてきたという証なのです。

今を生きる私たちも、それらを後世に引き継いで行かなければなりません。そのため一番大切なことは、呉市にどんな文化財があるかを知ること。

この冊子を手にとられたみなさんは、呉市にたくさんの文化財があることを知ったはずです。

ぜひ、身近な人に教えてください。

「実はこれ文化財なんだよ」と。

